

姫路市版災害時シナリオシミュレーションの実施手法

1 検討会議の設置

シナリオシミュレーションの実施にあたっては、災害想定を山崎断層帯地震としたため、本市の北西部で住宅が連坦している地域として、青山地区の連合自治会に協力をお願いし「検討会議」を設置しました。

【検討会議構成メンバー】

- | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|
| ・地区連合自治会長 | ・消防分団長 | ・老人会役員 | ・事業所 |
| ・小学校 PTA 副会長 | ・保育園職員 | ・公民館長 | ・小学校教諭 |
| ・地域住民（女性） | | | |

2 災害場面の設定

災害の発生初期から避難所生活までを 8 つの場面に分けて、基本項目を設定

3 シナリオの検討

検討会議において、設定された場面ごとの議論のポイントに基づき、登場人物の行動などのシナリオを検討

4 議論を踏まえてのシナリオ作成

検討会議での議論を踏まえ、ひとつのシナリオとしてまとめる

基本項目の設定

シナリオシミュレーションを実施するにあたって、設定した基本的な項目は下記のとおりです。

1 災害の想定

平成 20 年 1 月 17 日午後 1 時 45 分、三木市から岡山県美作市にかけての山崎断層が同時連動した大地震が発生。姫路市では、震度 7 を記録した。

この地震によって、市内各所で建物崩壊やがけ崩れ、火災などが発生している。